

(SPRING 支援対象学生対象)

## 査読付き論文等のオープンアクセス支援について

令和5年5月に開催された G7 広島首脳会合や仙台科学技術大臣会合において、オープンサイエンスが主要議題として取り上げられ、仙台科学技術大臣会合の声明では、「公的資金による学術出版物及び科学データへの即時のオープンで公共的なアクセス(オープンアクセス)支援」等が盛り込まれました。

オープンアクセスとは、研究成果を出版社による制限なしに誰でも無償で見ることができるようです。オープンアクセスは、研究成果を社会に還元するという点で大きな意義があります。また、研究者にとっては、自らの研究成果を広く世の中に公開することで、研究者としてのキャリアパス開発につながることを期待できます。

そこで、研究者としての発展を目指す SPRING 支援対象学生のみなさまの研究成果に対し、下記のオープンアクセス支援することとします。研究成果をオープンアクセス誌に掲載する際には、本支援の活用をご検討ください。

### 1. 支援対象の研究成果

以下の条件すべてに合致するものを対象とします。

- ・査読付き論文(査読がないものは対象となりません)
- ・申請者(SPRING 支援対象学生)が筆頭著者または責任著者
- ・当該論文の謝辞に SPRING による支援を受けていることの記載があること

※ただし Predatory Journal(後述)の疑いがあるものは、支援対象にはなりません。

### 2. 支援内容

- ・オープンアクセスに要する APC(Article Processing Charge)の全額を支援します。
- ・1人当たりの支援回数や支援金額等の制限は設けません。

※これまでの論文掲載の実績に基づき予算確保していますので制限は設けていませんが、SPRING 支援対象学生のみなさまの研究成果の状況によって、予算が不足するケースも考えられます。予算状況次第で支援に制限が生じる可能性があることを予めご了承ください。

### 3. 申請方法

下記の form から申請してください。

<https://forms.office.com/r/7k90uLKNkb>

#### 【入力いただく項目】

- ✓ 学生 ID・氏名
- ✓ 論文タイトル
- ✓ 著者名
- ✓ 書誌名
- ✓ 掲載(公開)予定日
- ✓ APC の金額
- ✓ 支払方法(請求書払い／個人のクレジットカード／指導教員の法人カード／その他\*)

※指導教員の法人カードの場合は「指導教員名」も入力。

\*）支払方法として、「請求書払い／個人のクレジットカード／指導教員の法人カード」が利用できない場合は、申請前に SPRING 運営事務局までご相談ください。事前相談の結果、支払方法が決定しましたら、「その他」を選択の上、事前相談結果を簡単に記入してください。

申請を受領後、SPRING 運営事務局において申請内容を確認の上、支援を決定します。申請した時点で支援が確定するわけではありませんのでご注意ください（SPRING 運営事務局からの支援決定通知を待ってください）。また、申請から支援決定まで、時間を要することがありますので、論文掲載の確定後、速やかに申請してください。

#### 4. 支払方法

APC の支払いは、支援決定通知受領後に行ってください。

支払方法は、以下のいずれかの方法とします。(1) → (2) → (3) の順に検討いただき、申請時にどの支払方法とするか入力してください。

##### (1) 請求書払い

掲載誌が請求書払いに対応している場合は、原則、請求書払いとしてください。

##### (2) 個人のクレジットカード

申請者(支援対象学生)名義のクレジットカード決済(立替払)を可能とします。

##### (3) 指導教員の法人カード

指導教員に法人カードによる決済が可能かどうか相談し、可能であれば法人カードで決済してください。(※指導教員が論文の責任著者となっているケースが多いと想定しています)

※上記(1)～(3)の支払方法が利用できない場合は、申請前に SPRING 運営事務局までご相談ください。また、支払方法に応じた証憑書類(請求書、領収書等)を研究支援課に提出してください。

## 5. 報告事項

掲載後（公開後）、当該論文を参照できる DOI (Digital Object Identifier) 等の情報を SPRING 運営事務局まで報告してください。

### \* ) Predatory Journal

「predatory journal」とは、オープンアクセスのビジネスモデルを悪用し、著者が支払う論文投稿料 (APC=Article Processing Charge) を狙った悪質な学術誌です。日本語では「粗悪学術誌」「ハゲタカジャーナル」「捕食ジャーナル」などと訳され、学術出版界における問題のひとつとして昨今頻繁に耳にするようになってきました。適切な査読が行われなため、投稿された論文の質が保証されていないのが実態です。

また、predatory journal の出版社は「著名な研究者を無断で編集委員として記載する」「インパクトファクターに類似した評価指標を使用する」「有名な学術誌と酷似したロゴや名称を使用する」など、様々な方法で健全な OA 誌を装い、研究者に論文の投稿を勧めてきます。料金や編集に関する情報が明示されていない場合も多いため、騙されて論文を投稿してしまうと様々なトラブルに巻き込まれる可能性がでてきます。論文を投稿する際は投稿する学術誌の見極めに注意を払わなくてはなりません。

(引用元:北海道大学附属図書館、[https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/predatory\\_journals/](https://www.lib.hokudai.ac.jp/support/predatory_journals/))

上記の Web サイトに、「predatory journal」の被害を防ぐなども記載されていますので、論文投稿にあたって参考にしてください。

以上